



笑顔いっぱい大北小 みんなで育つ大北小

大北小だより

11月号

平成28年10月31日

練馬区立大泉北小学校

校長 内木 勉

<http://www.ooizumi-n-e.nerima-tky.ed.jp/>

J・K・P

校長 内木 勉

皆さんは「ベルデ」を知っていますか？ベルデ=Verde は、スペイン語で「緑色」を意味し、練馬区立少年自然の家の呼称でもあります。練馬区立少年自然の家は、長野県軽井沢町、長野県上田市、静岡県下田市、千葉県南房総市の4箇所にあります。それぞれ「ベルデ軽井沢」、「ベルデ武石」、「ベルデ下田」、「ベルデ岩井」と呼ばれています。練馬には海や山がなく、夏休みなど田舎に帰省するという子供たちが少ないため、豊かな自然環境の中でさまざまな体験をしてもらいたいという願いから作られたものだと聞いています。練馬区ではこの施設を活用し、5年生を対象に2泊3日、6年生を対象に3泊4日の日程で移動教室を実施し、さまざまな教育活動に取り組んでいます。

大北小の6年生は、10月3日～6日まで武石移動教室に行ってきました。台風が近づいている中での出発でしたが、出発前に1年生から6年生にプレゼントされたてるてる坊主のおかげか、初日の車山ハイキングは雨の中のスタートでしたが、山頂では雨がやみ雲が取れ眼下に広がる景色を楽しむことができ、2日目以降は素晴らしい天候に恵まれました。特に3日目の美ヶ原高原での絶景は忘れることができません。バスで雲海を抜けた時の子供たちの歓声。牛伏山の山頂から見えた雲海の上に広がる青空、そして槍ヶ岳などの日本アルプスの山々。時間がたつのを忘れてしばし見とれてしまいました。こうした豊かな自然の中での体験活動から学ぶことは、移動教室の大きな目的のひとつです。

もうひとつの大きな目的は、宿泊を伴った共同生活の中で、自分のことは自分でするという生きる力を身に付け、友達や教員とのかかわり合いを深めることです。今回、6年生は武石移動教室にあたり、「J・K・P」を合言葉に決め、活動に取り組みました。「J・K・P」とは、J=自分で考えて行動する、K=友達と協力して活動する、P=大北小の最高学年としてのプライドをもって行動する、の3つの頭文字なのです。友達との共同生活は、ただ楽しいだけではありません。班での活動の場面では意見が合わず苦しんだり辛い思いをしたりすることもありました。かかわり合いは楽しいだけでは深まりません。ぶつかり合い悩んで考える中でかかわり合いは深まります。6年生の子供たちは、言われたことはしっかりできます。しかしそれではJ=自分で考えて行動したことにはなりません。6年担任の先生方は本当に我慢強く子供たちを待ちました。粘り強く指導を続けました。すると2日目の夜から子どもたちの気持ちや動きがはっきりと変わってきたのです。班での声かけが増え、意識が変わり、行動が変わり表情が変わったのです。この変化が自信となりプライドへとつながっていくことを実感した4日間でした。

3泊4日の武石移動教室の中で、ベルデ武石の方々、バスの運転手さん、ガイドさん、各施設の方々から「気持ちの良いあいさつができる子どもたちですね。」という言葉がたくさんいただきました。これは6年生の子どもたちの素晴らしい力です。大北小での毎日の生活の中で積み上げてきた宝物です。これこそがP=最高学年としてのプライドだと思うのです。これを大北小の全部の学年に広げていき、大北小の伝統としたいと思っています。31日からは5年生が2泊3日の岩井移動教室に行ってきました。初めての宿泊体験の中でどんな物語を紡いでくれるか楽しみにしています。

研究だより ～2年生 研究授業～

2年 瀧脇 稔尚

10月26日（水）に今年度2回目の校内研究授業を行いました。今回は2年生が体育で「体づくり運動」領域の中の『多様な動きをつくる運動遊び』に取り組みました。

現在、運動に関する様々な報告で、子どもたちの実態について非常に心配な点が指摘されています。それは運動する子どもとそうでない子どもの「二極化の傾向」や子どもの「体力の低下傾向」が依然として深刻な問題となっていることです。本校でもこれまで6年間続けて体育の研究を行い、進んで運動に親しみ、体力や技能を高めようとする児童を育成することを目標に体力の向上を図ってきました。

学習指導要領では小学校低学年・中学年のうちに「基本的な動きを総合的に身に付ける」ことになっています。そこで「体づくり運動」の内容に「多様な動きをつくる運動遊び」が位置付けられました。「多様な動きをつくる運動遊び」は、体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、体の基本的な動きを総合的に身に付けることをねらいとしています。「体の基本的な動きを身に付ける」ということには、二つのとらえ方があります。一つ目は、回る、這う、くぐる、運ぶなどの多様な動きを経験することによって、動きのレパートリーを増やしていくことです。このことが「多様な動きをつくる運動遊び」のねらいの中心です。二つ目は、一つ一つの基本的な動きを何度か経験することによって無駄な動作を少なくし、動きの質を高めていくことです。

また、「総合的に身に付ける」ということは、特定の運動（例えば「体を移動する運動」）だけを重点的に扱うといった考えではなく、取り組むことになっている運動遊びをバランスよく扱い、基本的な動きを身に付けていくことが大切です。つまり、「多様な動きをつくる運動遊び」では、日常生活や遊びの中に現れる運動遊びや運動を意図的に授業で取り上げ、子どもたちに経験させることで、体の基本的な動きをバランスよく身に付けることをねらいとしています。

今回の授業では、子どもたちが楽しみながら運動遊びに取り組めるように4つの運動遊びを組み合わせた授業を計画しました。①体のバランスをとる運動遊び、②体を移動する運動遊び、③用具を操作する運動遊び、④力試しの運動遊びです。どの運動遊びも基本の動きに挑戦してから、さらにレパートリーを増やす動きに挑戦しました。また、子どもたちの「やってみたい」という気持ちを引き出すために、新しい運動遊びができるようになったら、その運動によってオリンピックのメダルの種類と同じ色のシールを学習カードに貼ることができるようにしました。運動遊びそのものが楽しいだけでなく、できるようになったときの喜びと達成感を味わえるようにしました。

子どもたちはわくわく、どきどきしながら運動遊びに取り組むことができました。体を動かすことが楽しく、できるようになったことを見てもらいたくてうずうずしていました。今後も、様々な運動遊びに取り組みせ、さらに動きの質を高めていけるように指導を重ねていきます。



武石移動教室

6年 京田 華子

武石の山に向かって「ヤッホー」と叫び耳をすませると、幾重にもなってこだまが返ってきました。山の深い緑や空の青さを見ながら、凜とした空気を吸うとやはりそこは東京とは別世界、一人の欠席者もなく全員でここに来られたことの喜びを感じました。

ぎりぎりまで台風の影響が心配されましたが、1年生からもらったてるてる坊主のおかげで天候に恵まれ、行く先々で見事な眺望を眺め感動を味わうことができました。



乳搾り体験

2日目は鷹山ファミリー牧場に行き、酪農体験やBBQ体験をしました。また、牧場の方から経済動物についてのお話を伺いました。人間が牛乳として飲んでいるものは、本来生まれたばかりの子牛にあげるための母乳であること、食用となる牛は寿命まで生きられず、とさつ場へ連れて行かれるといったことは子供たちにとって初めて知る事実ばかりでした。生き物に対する考え方が大きく変わり、食べ物のありがたさを強く感じたようでした。

宿舎では、スタンプラリーやキャンプファイヤー、室内レクリエーション、肝試しなどで大いに盛り上がりました。また、友達と入るお風呂や部屋での語りも特別なひとときとなったようです。

移動教室に行くにあたって子供たちは「大人に頼らず自分から主体的に行動すること」「誰とでも協力すること」「大北小の最高学年であることのプライドをもって行動すること」というめあてをもち臨みました。お世話になった施設の方々からは「大北小の6年生はあいさつがよくできる。」とほめられることが多くありました。一方で、時間への意識の甘さや、話の聞き方、易きに流されてしまうこと等課題も浮き彫りになりました。4日間を通じて、自分たちのよさや課題に向き合う学びの多い時間になりました。

移動教室が終わってからは一段落する間もなく、帰校二日後の土曜日には手作り遊び集会があり、子供たちにとっては自分たちのことだけでなく学校行事の準備も進めなければならないという目まぐるしい一ヶ月でした。しかし、これも歴代の6年生が通ってきた道。大変だからこそ、最高学年としての自覚や責任を感じることも多いはずです。残り100日を切った卒業までの日々、仲間との思い出が心の拠り所となりますように。そして一人一人の学びが下学年に、そして大北小全体にこだましていくことを願ってやみません。



白熱した室内レクリエーション

◎今月の生活目標:言葉づかいを正しくしよう みんなでなかよくしごとをしよう
きれいにそうじをしよう

日	月	火	水	木	金	土
10/30	10/31 全校朝会 岩井移動教室 5年始	1	2 岩井移動教室 5年終 町探険 2年	3 文化の日	4 音楽朝会 (連合音楽会 の歌6年披露) 町探険予備 2年	5
6	7 全校朝会 委員会⑦	8 連合音楽会 6年	9 保健委員会集会	10 安全指導 B時程	11 避難訓練	12 土曜授業公開 (3h公開なし) 道徳授業 地区公開講座
13	14 全校朝会 クラブ⑨	15 けやき班集会	16 4時間授業 就学時健診 (特別時程のため 13時完全下校)	17 4時間授業 (6-3のみ5時 間授業) (小中一貫合同 研究会のため)	18	19
20	21 全校朝会 クラブ⑩	22	23 勤労感謝の日	24 歯垢染色指導 4年	25 4時間授業 校内研究全体会 のため(4-1の み5時間授業) 美しい日本語の 話し方教室 6年	26
27	28 全校朝会 クラブ⑪	29 クリーン運動	30 児童集会 4時間授業 (教育会一斉 研究日のため)	12/1 クリーン運動 予備日	12/2 社会科見学 3年	12/3

「合唱発表会に向けて」 音楽専科 林 美由紀

今年も12月16日に合唱発表会が行われます。今回で第41回となる伝統ある行事です。練習を始めるにあたり、一番重要なことは選曲だと思います。このクラス、学年にはどのような曲が合っているか、授業での歌声からイメージします。「声の質や曲の雰囲気は合っているか？」など、かなり悩んでしまいます。そして子供たちと話し合った上で、曲を決定します。練習用のCDも各クラスに配り始めました。実行委員を中心に練習を重ねて、自信をもって歌って欲しいです。そして発表会ではクラス・学年が一つになることの喜びを感じてほしいと思います。子供たちは精一杯がんばると思います。保護者の皆様のご来校をお待ちしています。

副校長通信

「今年の実は」

副校長 大野 正人

この時期になると、熊や鹿が、猿が山や里に出てきて被害をもたらすという報道を目にします。山の実りが少ない、人がごみなどを出しっぱなしにしてきた、など様々な原因が考えられます。しかし、最も大きな原因は、動物達が自分で実りを生み出すことができないことです。翻って、私たちは農業を通して、科学を通して(品種改良・LED使用など)実りを生み出すことができます。子供たちも、努力を通して実り(達成感)を感じ取ることができます。それを支えるのが、努力を認める・褒めること、気持ちの変化を捉えて励ますことなどです。ともすれば、叱りがちな日々ですが、学校とご家庭で一人一人を支えていきたいと願っています。